

授業科目	日本経済入門				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO11401J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-4 DP2-1 DP3-1			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	私たちの暮らしと密接な関わりをもつ経済について、第1回～第7回まで経済学(マクロ経済学)の基礎知識を習得し、第8回以降は高度経済成長期以後の日本経済の主要な論点を学びます。							
学生が達成すべき行動目標	1. インフレやデフレ・消費税・プライマリーバランスなど新聞記事に登場する経済用語の意味を理解し、それを自ら説明することができる。 2. 経済用語を使って経済のメカニズムを自ら考えることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	20					40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)	10	10					20	
思考・判断 (DP2-1)	10	10					20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10	10					20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本経済新聞などのさまざまな経済記事を理解できるようになる。				経済用語を理解し、経済の仕組みについても自らの言葉で説明できるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	経済学の全体像、景気とは何か、GDP 概念			講義		復習		50分

2	生産と消費、利子率と投資	講義	復習	50分
3	政府の役割、財政政策とプライマリーバランス	講義	復習	50分
4	中央銀行の役割、金融政策	講義	復習	50分
5	物価と失業率、労働環境	講義	復習	50分
6	為替レートと貿易	講義	復習	50分
7	株式市場、株価形成要因	講義	復習	50分
8	日本の高度経済成長期	講義	復習	50分
9	石油ショックと日本経済	講義	復習	50分
10	プラザ合意と円高不況	講義	復習	50分
11	バブル経済の発生と崩壊	講義	復習	50分
12	少子高齢化と労働市場	講義	復習	50分
13	社会保障制度と消費税増税	講義	復習	50分
14	アベノミクスと経済成長戦略	講義	復習	50分
15	総まとめ	講義	復習	60分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃から経済のニュースなどに耳を傾けるように心掛けてください。			
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	釣雅雄(2014)『入門 日本経済論』新世社 神樹兵輔(2014)『最新 日本経済キーワード』高橋書店			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	基礎的な経済用語の知識の習得は就職活動において必須ですので積極的に授業に参加してください。			
達成度評価に関するコメント	試験、小テストの内容は授業で指示します。			